

身近でかんたん! エシカル消費

1 2 3

「エシカル消費」は大きく分けて3タイプ。自分にできることから実践してみよう!

1 環境にやさしい消費

■グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することを指します。消費者の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促します。



■車のレンタル・シェア

レンタカーや、複数人で車を安価で共有できるカーシェアリングを利用することで、車の数や、車を利用する機会そのものが減り、CO₂の排出量を大幅に低減できます。



シェアしてエコ&経済的!!



■国産材の使用・森林保全につながる木材製品の選択など



国産材が使用された製品や、合法性・持続可能性が証明された木材・木材製品の積極的な利用は、持続可能な森林経営を支援し、地球温暖化の防止や、土砂災害の防止・緩和の効果があります。



■有機農産物の購入

有機農産物は、自然環境との調和を大切に、環境保全に配慮し生産された農産物のことです。これらを積極的に購入することで、土壌と生態系の保全につながります。



■自然エネルギーの利用

太陽光、風力、地熱、水力などの自然エネルギーは、化石燃料のように温室効果ガスであるCO₂を発生させないため、クリーンなエネルギーと言えます。特にソーラーパネルは、家庭でも設置可能で、災害時や停電時など、非常用電源の確保にもなります。



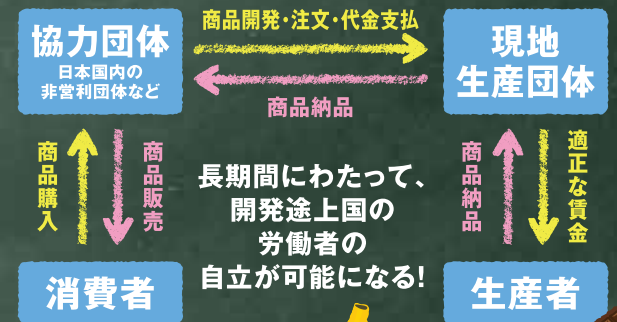
2 人や社会にやさしい消費

■フェアトレード商品の購入

フェアトレード(公平貿易)とは、開発途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者のより良い暮らしを持続的に支える仕組みです。フェアトレードの基準には、その他にも、労働環境の改善、自然環境への配慮、地域の社会・福祉への貢献などが含まれています。



フェアトレードの仕組み



■福祉施設で作られた製品の購入

障害のある方々は、地域社会において自立した生活が営めるよう、福祉作業所や障害者施設、地域共同作業所などでパン、ケーキ、雑貨などを作り販売しています。障害のある方々が作った製品を購入することは、彼らの支援と自立への後押しにつながります。



■寄附付き商品の購入

商品購入代金の一部が地域貢献活動などに寄附される商品のことをいいます。自分が欲しい商品を購入することで社会貢献ができるので、寄附をためらってしまう人でも手軽に継続して行うことができるエシカル消費の一つです。



人や社会にやさしいものを選んで購入するのは、なんだか気持ちがいいね!

